

参考資料 1

「がん」についてのアンケート調査結果

ガン撲滅サミット事務局では、「第1回がん撲滅サミット」開催に際し、成人男女を対象に「がん」についてのインターネットアンケート調査を行いました。

<調査概要>実施月:2015年2月、対象:全国・20~50代男女(有効回答数 n=400/男性200・女性200)

Q. 「がん」は治ると思いますか。各々について、お知らせください。

	そう思う	そう思わない	分からない
早期発見の場合は、100%治る	35.8	35.8	28.5
末期でない限り、適切な治療を施せば100%に近い確率で治る	24.0	42.8	33.3
脳に転移したら助からない	45.8	17.8	36.5

条件に関わらず、およそ3割前後の人は「分からない」と回答。早期発見に対しては治る・治らないが半々となった。適切な治療に対しては、「そう思わない」回答率が約4割と高く、がん治療に対するイメージは厳しいことがわかる。また脳腫瘍に対する「不治」イメージは強く半数近くが助からないと思っている。

* アンケートの詳細については下記までお問い合わせください。

参考資料 2

内閣府大臣官房政府広報室 世論調査 「がん対策に関する世論調査」

<調査概要>実施月:2014年11月、全国・日本国籍20歳以上男女(有効回答数 n=1,799)
調査方法:調査員による個別面接聴取法

Q. がんをこわいと思う理由の認識(がんに対する印象について「どちらかといえばこわいと思う」「こわいと思う」回答者 n=1,339/複数回答)

【上位2位】	がんで死に至る場合があるから	72.9
	がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから	53.9
	がんの治療費が高額になる場合があるから	45.9

ガンをこわいと思う理由で最も多いのが「がんで死に至る場合があるから」。8割近い人ががん=死のこわさを感じている。

Q. セカンドオピニオンの認知度(「セカンドオピニオン」=主治医以外の医師の意見を聞く方法)

(該当者数)	よく知っている	言葉だけは知っている	わからない	知らない
今回調査(1,799人)	49.6	28.1	0.4	21.9
平成25年1月調査(1,883人)	45.5	27.0	1.0	26.5
平成21年9月調査(1,935人)	29.7	27.5	0.7	42.1
平成19年9月調査(1,767人)	29.5	23.8	0.5	46.2

セカンドオピニオンを「よく知っている」人は、年々増加しているが、まだ5割に至らない。